

知っていますか？

認知症声かけ模擬訓練

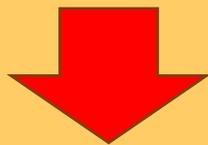
●認知症声かけ模擬訓練とは…

地域での支え合い活動を進めていく中で、認知症の方に対して、より良い声のかけ方や対応が出来るように実践練習を行い、認知症の理解を深めていただくことです。



2025年には高齢者の5人に1人は認知症になると言われています
2019年 日本全国の行方不明者数 1万7479人(7年連続過去最多更新)

あなたのひと声が早期発見、事故の未然防止につながります。
認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすためには、認知症について正しく理解し、声をかけ合い、見守りが出来る地域をつくる必要があります。



見守りが出来る地域づくりをするため

栃木市社会福祉協議会大平支所では、

地域住民の方々の認知症への理解を深め、実践力を培うことを目的として、平成29年度から認知症声かけ模擬訓練を実施しています。



認知症高齢者等声かけ模擬訓練

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。

(※来年度は実施する予定です。)

- | | | | |
|-------------|----------------|-----|--------------------|
| 第1回【平成29年度】 | 平成30年 1月28日(日) | 参加者 | モデル自治会・民生委員46名 |
| 第2回【平成30年度】 | 平成30年11月18日(日) | 参加者 | 大平町内在住の20才以上の方100名 |
| 第3回【令和 元年度】 | 台風19号の影響により中止 | 対象 | 市内在住の親子 他 |



講演の様子



声かけの様子



ふれあい館周辺での声かけの様子